

ユウヤケマツカサ (新称) *Myripristis robusta* の 日本からの初記録

岩槻幸雄¹・本村浩之²・木村清志³・吉野哲夫⁴

¹ 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部水産科学講座
(電子メール: yuk@cc.miyazaki-u.ac.jp)

² 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学, 鹿児島大学大学院連合農学研究科
(電子メール: a02113u@cc.miyazaki-u.ac.jp)

³ 〒517-0703 三重県志摩郡志摩町和具私書箱11号 三重大学生物資源学部附属水産実験所
(電子メール: kimura-s@bio.mie-u.ac.jp)

⁴ 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科
(電子メール: b985005@sci.u-ryukyu.ac.jp)

(1999年6月7日受付; 2000年3月27日改訂; 2000年5月10日受理)

キーワード: ユウヤケマツカサ (新称), *Myripristis robusta*, イットウダイ科, 日本初記録

魚類学雑誌 Japanese Journal of Ichthyology

© The Ichthyological Society of Japan 2000

Yukio Iwatsuki,* Hiroyuki Motomura, Seishi Kimura and Tetsuo Yoshino. 2000. A holocentrid fish, *Myripristis robusta* from Japan (Beryciformes: Holocentridae). Japan. J. Ichthyol., 47(2): 131-134.

Abstract A single specimen of the holocentrid fish, *Myripristis robusta* Randall & Greenfield, collected at a depth of ca. 50 m in Funauki Bay, Iriomote Island, Ryukyu Islands, Okinawa Prefecture, represents the northernmost record of the species and the first record from Japan. The specimen (175 mm in standard length) is described and a new Japanese name "Yuyake-matsukasa" is proposed to the species.

*Corresponding author: Yukio Iwatsuki, Division of Fisheries Sciences, Faculty of Agriculture, Miyazaki University, 1-1 Gakuen-kibanadai-nishi, Miyazaki 889-2192, Japan (e-mail: yuk@cc.miyazaki-u.ac.jp)

イットウダイ科アカマツカサ属 (*Myripristis*) 魚類は世界に26種が知られ, そのうち22種がインド・太平洋海域に分布する (Randall and Greenfield, 1996). 日本周辺海域における本属魚類は清水 (1984) や林 (1993) によって分類学的に整理され, その後 Randall and Yamakawa (1996) によって2新種が報告され, 合計13種が認められている.

著者らは琉球列島におけるイットウダイ科魚類の分類学的再検討の過程で, 沖縄県西表島から *M. robusta* と同定される1標本を採集した. 本種は Randall and Greenfield (1996) により, フィリピンとパプア・ニューギニアで得られた4個体に基づいて

新種記載された種であり, これまで日本から報告されていない. よって本報告ではこの標本を詳細に記載し, *M. robusta* に対して標準和名ユウヤケマツカサを提唱する.

計測方法は Randall and Greenfield (1996) に従った. 本研究に用いた標本は三重大学生物資源学部附属水産実験所 (FRLM: Fisheries Research Laboratory, Mie University) と宮崎大学農学部水産科学講座 (MUFS: Division of Fisheries Sciences, Miyazaki University) に保管されている.

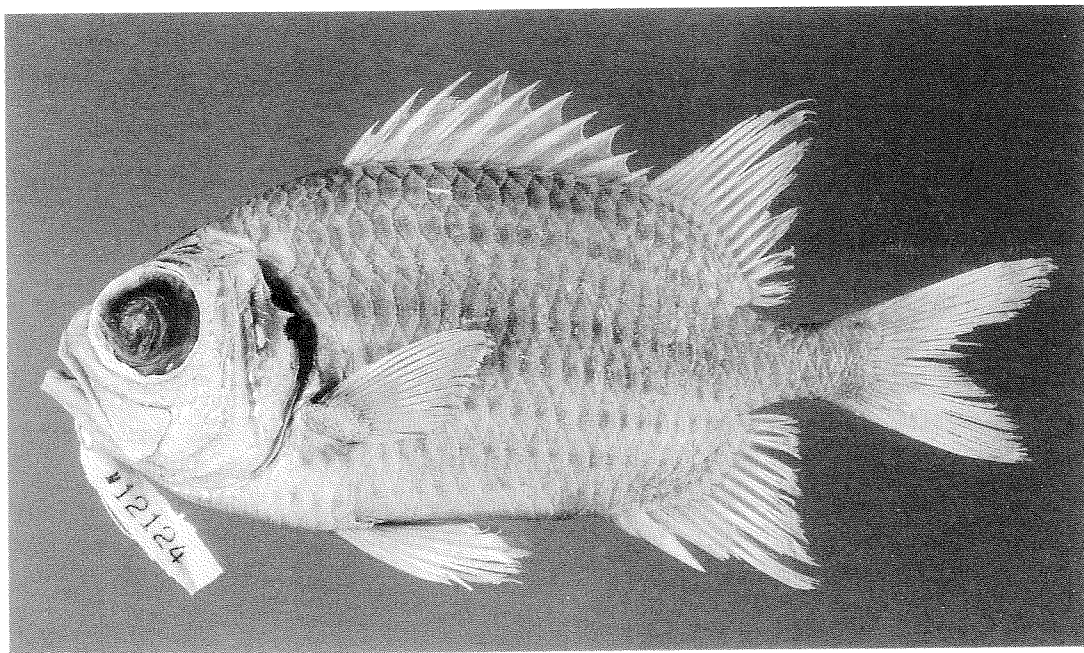


Fig. 1. *Myripristis robusta* from Funauki Bay, Iriomote Island, Ryukyu Islands, Okinawa, Japan (MUFS 12124, 175 mm in standard length).

ユウヤケマツカサ (新称)

Myripristis robusta Randall & Greenfield, 1996
(Fig. 1)

Myripristis hexagonus (not of Lacepède); Randall and Guézé, 1981: 4, fig. 2 (in part) (Indo-West Pacific).
Myripristis robusta Randall and Greenfield, 1996: 43, pl. 5C (type locality: Batangas, Luzon, Philippines).

標本 MUFS 12124, 1個体, 標準体長175 mm, 沖縄県西表島船浮湾, 釣り, 岩礁域, 水深約50 m, 1996年5月17日, 岩槻幸雄・栗崎 健採集.

識別的特徴 本種は胸鰭腋部に小鱗がないこと, 下顎先端の歯塊が2対であること, 鰓耙数が $10+20-22$ (総鰓耙数30-32) であること, 頭長が两眼間隔の5.7-5.95倍, 胸鰭長の1.35-1.45倍であること, 体側部の鱗の中央部は, 背部から腹部にかけて赤橙色から銀白色を呈し, 鱗の後縁部は暗赤色から橙色を呈すること, 腹膜が黒いこと, 背鰭軟条部, 臀鰭軟条部, および尾鰭上下両葉は赤色で, それらの先端に明瞭な黒斑あるいは黒点を持たないことによって同属他種から区別できる.

記載 計数形質と体各部の測定値をTable 1に示す. 側線上方鱗数は3, 側線下方鱗数は $5\frac{1}{2}$. 頬部の鱗数は4. 体は側扁する. 体高は高く, 背鰭

始部で最大になる. 吻長は頭長の $\frac{5}{10}$. 下顎先端は上顎先端よりやや前方に突出する. 上顎後端は瞳孔の後縁直下に達する. 眼径は頭長の $\frac{2.3}{10}$. 尾柄高は頭長の $\frac{3}{10}$. 臀鰭始部は背鰭最後棘のほぼ直下に位置する. 臀鰭第3棘と第4棘はほぼ同長である. 体側各鱗の後縁部には小棘が存在し, 側線直下の鱗列上で, 胸鰭の先端が達する位置の鱗の小棘は34本. 胸鰭腋部に小鱗がない. 鼻孔の後縁に8小棘が存在する. 下顎先端の歯塊が2対. 鋤骨歯帯は三角形で, その後縁は凹状である.

体色 生鮮時の体色は採集時の標本写真に基づく. 頭部は濃い赤橙色. 体側各鱗の後縁部 (露出部の約 $\frac{4}{10}$ 程度) は, 濃い赤橙色であり, 特に背部は暗赤色で腹部に向かって徐々に赤橙色を呈する. 体側鱗の中央部は, 背部では赤橙色で腹部に向かうにつれ徐々に銀白色をおびる. 鰓蓋後端の上部から胸鰭基部にかけて, 鰓蓋膜を囲むように直線状の赤色帯がある. 鰓蓋膜は上縁から眼窩下縁と同じ高さまで黒い. 胸鰭腋部上方は黒い. 鰓蓋上の鱗は銀白色. 虹彩は赤く, 瞳孔の上部と下部にわずかに暗赤色帯がみられる. 背鰭棘条部の鰭膜は上方約 $\frac{4}{10}$ は赤色であり, 残りの部分は透明で赤味をおびる. 背鰭軟条部, 臀鰭軟条部, および尾鰭上下両葉は赤く, それぞれの先端

は濃い赤色で縁取られるが、黒斑あるいは黒点は全くみられない。背鰭第1軟条前縁、臀鰭第1軟条前縁、および尾鰭上下両縁はわずかに白く縁取られる。胸鰭は透明で、赤味をおびている。腹鰭も赤味をおびており、その棘条と第1軟条は白く縁取られる。

アルコール液浸標本では、頭部と体側部は黄色味あるいは銀白色をおびた淡褐色である。また体側には、鱗列に沿った8本の細い淡褐色縦帯が認められる。鰓蓋膜は上縁から眼窩下縁の高さまで

黒い。胸鰭腋部の上半部は黒色。各鰭はいずれも一様に淡黄色。背鰭軟条部、臀鰭軟条部、および尾鰭上下両葉の先端には黒斑あるいは黒点は全くみられない。腹膜は黒色。

備考 本報告で記載した標本は、胸鰭腋部に小鱗を持たないこと、下顎の歯塊が2対であること、側線有孔鱗数が28であること、総鰓耙数が31であること、頭長は两眼間隔の5.8倍、胸鰭長の1.4倍であること、腹膜が黒いこと、および各鰭に黒斑あるいは黒点が全くないことなどから、Randall

Table 1. Counts and proportional measurements of *Myripristis robusta*

	This study <i>n</i> =1 175 mm SL	Randall and Greenfield (1996) <i>n</i> =4* 128–158 mm SL
Dorsal fin rays	X-I, 14	X-I, 14
Anal fin rays	IV, 12	IV, 12–13
Pectoral fin rays	15	15
Pelvic fin rays	I, 7	I, 7
Lateral line scales	28	28
Gill rakers	10+21=31	10+20–22=30–32
Percent of standard length		
Body depth	47.0	46.9–48.3
Body width	21.8	21.9–23.0
Head length	35.4	36.0–36.7
Snout length	7.0	7.0–7.6
Orbit diameter	15.7	15.2–17.6
Interorbital width	6.1	6.0–6.4
Upper jaw length	21.0	20.7–22.6
Caudal peduncle depth	9.7	9.7–10.4
Caudal peduncle length	12.0	11.8–12.4
Predorsal length	41.8	39.7–43.1
Preanal length	72.8	71.3–73.0
Prepelvic length	42.9	40.6–42.9
First dorsal fin spine	7.5	7.6–9.6
Second dorsal fin spine	12.9	12.9–15.1
Longest dorsal fin spine	16.6	15.7–17.1
Tenth dorsal spine	5.7	5.1–5.5
Eleventh dorsal spine	10.4	10.4–12.2
Longest dorsal ray	24.0	23.4–25.2
First anal fin spine	2.0	1.9–2.5
Second anal fin spine	6.2	6.1–7.8
Third anal fin spine	15.5	15.2–16.2
Fourth anal fin spine	14.1	14.1–16.2
Longest anal ray	broken	23.2–23.4
Caudal fin length	28.0	27.8–28.2
Caudal concavity	13.9	13.9–15.5
Pectoral fin length	24.6	24.4–25.8
Pelvic spine length	16.9	16.4–18.2
Pelvic fin length	26.3	24.4–27.6

*Data from holotype+3 paratypes.

and Greenfield (1996)にしたがって *Myripristis robusta* と同定された。しかし原記載と比較したところ、いくつかの相違もみられた。原記載では前鋤骨歯帯は三角形であるとされているが、本研究で用いた西表島産の標本では鋤骨歯帯の後縁は凹状である。本属では鋤骨歯帯の形状に種内変異がみられること (Randall and Greenfield, 1996) および本種の原記載は4個体のみからなることを考慮して、この相違は種内変異であると判断される。また、側線直下の鱗列上で胸鰭の先端が達する位置における鱗後縁辺部の小棘は原記載では30–32本としているが、西表島産の標本では34本であった。この小棘の数は成長にともない増加していくことが知られており (Randall and Greenfield, 1996)、西表島産の標本 (標準体長175 mm) がこれまでに報告された最大個体であることによるものと考えられる。さらに色彩についても若干の相違がみられた。原記載では生鮮時の色彩について、背鰭軟条部、臀鰭軟条部、および尾鰭上下両葉先端にわずかに黒点が認められるとしている。それに対して西表島産の標本では黒点は全くみられなかったが、各鰭の先端は他の部分に比べて赤い色素が強く現れていた。さらに *M. robusta* の完模式標本の写真 (Randall and Greenfield, 1996: pl. 5C) では体側鱗が強い黄色味をおびているが、西表島の標本では橙赤色を呈した銀白色であった。

ユウヤケマツカサはフィリピン、パプア・ニューギニア (Randall and Greenfield, 1996)、および琉球列島の西表島 (本研究) に分布する。本報告は日本における最初の採集記録であり、同時にその北限記録となる。

また、本種は同属のウロコマツカサ *M. botche* Cuvier とよく類似するが、総鰭耙数が30–32であること (後者では32–38)、頭長は両眼間隔の5.7–5.95倍 (4.5–5.6倍)、胸鰭長の1.35–1.45倍 (1.5–1.65倍) であること、背鰭軟条部、臀鰭軟条部、および尾鰭上下両葉の先端に黒斑を持たないか、

あるいは明瞭でないこと (明瞭) で区別できる (Randall and Greenfield, 1996; 本研究)。

比較標本

ウロコマツカサ *Myripristis botche*: FRLM 14682, 1個体, 体長212 mm, インドネシア, ロンボク島, 1995年11月19日採集; MUFS 12646, 1個体, 体長183 mm, 沖縄県伊江島, 1996年11月8日採集。

謝 辞

本研究を行うにあたり、標本の採集にご協力いただいた三重大学練習船勢水丸船長の石倉 勇氏ほか乗組員の方々に対し深く感謝する。さらに、今回得られたユウヤケマツカサの標本写真と表のデータから、その種の同定と類似種の情報をいただいた米国ハワイ州、元 Bishop Museum の J. E. Randall 博士に対してお礼申し上げる。また、ニュージーランドのテムズ在住の G. S. Hardy 博士には、英文を校閲していただいたのでここで感謝の意を表したい。

引用文献

- 林 公義. 1993. イットウダイ科. 中坊徹次 (編), pp. 444–454, 1287. 日本産魚類検索—全種の同定. 東海大学出版会, 東京.
- Randall, J. E. and D. W. Greenfield. 1996. Revision of the Indo-Pacific holocentrid fishes of the genus *Myripristis*, with descriptions of three new species. Indo-Pac. Fish., (25): 1–61.
- Randall, J. E. and P. Gueze. 1981. The holocentrid fishes of the genus *Myripristis* of the Red Sea, with clarification of the *murdjan* and *hexagonus* complexes. Contr. Sci. Nat. Hist. Mus. Los Angeles County, (334): 1–16.
- Randall, J. E. and T. Yamakawa. 1996. Two new soldierfishes (Beryciformes: Holocentridae: *Myripristis*) from Japan. Ichthyol. Res., 43: 211–222.
- 清水 長. 1984. イットウダイ科. 益田 一・尾岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編), pp. 96–98. 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会, 東京.